



国際会長 (IP) Joan Wilson (カナダ)

“Our Future Begins Today”

「私たちの未来は、今日より始まる」

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 利根川 恵子 (川越)

「明日に向かって、今日動こう」

“For the Future, Act Today!”

湘南・沖縄部部長 (DG) 若木 一美 (横浜とつか)

「あなたが退会しない理由は？」 ~明るく・楽しく・元氣よく~

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「YMCA とともに！」

“Together, with YMCA!”

会長 金子 功
副会長 舟田 正夫
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 松島 美一

監事 松島 美一
ブリテン 高田 一彦
担当主事 青木 一弘

＜今月の聖句＞

古田 和彦

五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いてくるような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かかれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話し出した。

(使徒言行録2章1～4節)

横浜YMCAが主催するチャリティーラン、ウェルカムフェスタ、室内幼児サッカー大会、日本語スピーチコンテスト等への積極的な参加に加え、BAPY基金、国際地域協力募金、東日本大震災や熊本地震への募金、富士山YMCA基金等へも理解を示し、できる範囲での協力をしてまいりました。その意味ではクラブモットーを尊重し、実践できたと思っております。

つい先月、横浜クラブ恒例の一泊研修会が行われました。今期をもって横浜クラブから千葉クラブに転入会される高田一彦ワイズから「ワイズの楽しさ」と題する示唆に富んだ惜別の講話をしていただきました。その後のディスカッションではワイズ活動を活性化する前向きな意見が続出し横浜クラブの将来に明るい兆しを感じました。横浜クラブから高田ワイズを失うことはクラブにとって大打撃には違いありませんが、このことが、横浜クラブの次のステップへの足掛かりになることを期待しています。

これまで私にお示しいただいたご理解とご協力を新年度からは舟田新会長にもお示しいただきたく心よりお願いする次第です。

ひとこと

「ステップアップの足掛かりに」

横浜クラブ会長 金子 功



この6月を以ってクラブ会長を退き、舟田正夫ワイズに引き継ぐことに成りました。これまでの2年間、会長の任に当たって参りましたが、何とか無事にこの日を迎えることができましたのもクラブ会員一人ひとりのワイズダムの意識の高さと、会員相互

の信頼関係に助けられ、ご協力いただいた賜物であったことを思い心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

最初、会長をお引き受けした時の私のコメントは「大変な大役を引き受けることに成ったがそれほど心配はしていない。何故なら、会長に協力し助けようとする会員の意識の高さを知っているからです。」でした。私のこの理解は全く裏切られることはありませんでした。

今年度のクラブモットーは「YMCAと共に！」でした。

＜2017年5月例会実績＞

在籍者	出席者	出席率	B F
19名 (功労 会員1 名を含 む)	メン 10名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 1名 ゲスト 0名 合計 11名	56 % (メーキャップ 名を含む) 前月修正出席 率	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<6月の行事予定>

強調月間【評価】

日	曜	時間	行事内容	場所
3-4	土	12:45	第20回東日本区大会	川越
6	火	19:00	第77回Y-Y協議会	中央Y
8	木	18:30	横浜クラブ第一例会 高田ワイズ感謝会	萬珍楼
22	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y
24	土	14:00	第3回部評議会	中央Y

<5月一泊研修例会報告>

伊藤 誠彦

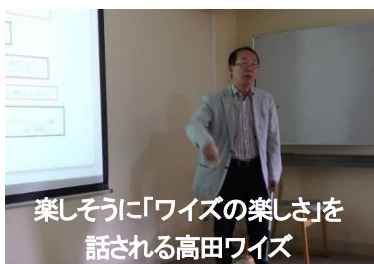
日時：5月26（金）15:00～27日（土）11:00

場所：横浜市民ふれあいの里 上郷・森の家

出席者：青木、伊藤、今村、大高、金子、古賀、齋藤、高田、舟田、古田

ビジター：加藤利榮ワイズ（横浜とつかクラブ）

恒例の一泊研修例会を森の家で開催されました。研修会のテーマは「ワイズライフの楽しさを実現する」と定め、プログラムは1日目が研修1として、高田ワイズによる「ワイズの楽しさ」と題する卓話、2日目は研修2として、横浜ワイズの目玉プログラになることが期待されている「日本語スピーチコンテスト」（第4回）のビデオ観賞と自由討議。



中実に8回も参加下さり、都度、大いに横浜クラブを啓発して頂いている加藤ワイズ。

研修会1の卓話は「ワイズの楽しさ」。実は、高田ワイズには昨年の一泊研修会でも同じタイトルでお話し頂いている。昨年はワイズメンズクラブの紹介的色彩が濃い話であったが、今回は、ご自身のワイズ活動の経験に基づく話を中心。

高田さんはクラブ会長、部長はもとより東日本区理事、国



会議室での1日目の研修参加者

研修会1は伊藤ワイズの司会により、金子会長の挨拶で定刻に開始。ワイズソング、ワイズ信条唱和、高田ワイズによる聖句。ビジターは森の家での一泊研修会が開始された2008年以来、10回

際議員、アジア地区会長も務められただけあって、実に幅広いトピックスについて、話された。

さまざまな人との出会い、中には、敦子メネットとの出会いの話、加藤ワイズ、故須部ワイズが仕掛けられた理事退任式での愛娘こと子さんからの花束贈呈で、感極まって涙の理事退任式になったことなども織り込み、ワイズの要職に「用いられる」うちに「ボランティア活動を通して変化していく自分」について、実に楽しそうに話されました。自分自身が楽しんでいるので、その楽しさが聞いている人達に伝わってきます。千葉クラブへの転会を来月に控え、残される横浜クラブ会員に対する大変示唆に富んだ話であり、大好評でした。

その後、ビジネスの話もそこそこに、研修1は5時に終了、6時から夕食、その後は部屋に戻って懇親会。今村ワイズと齋藤ワイズは懇親会途中で帰宅されました。

2日目は、新たに古田ワイズも参加され、金子ワイズの司



緑の森をバックに2日目の研修参加者

会で研修2を定刻の9時に開始。

日本語スピーチコンテストのビデオ視聴は、青木ワイズの奮闘にもかかわらず、PCと会議室のオーディオ装置の相性が良くないのか、音声がよく聞きとれず、途中で断念。

金子ワイズの巧みな司会のもとに、出席者夫々がスピーチコンテストについての思いを活発に述べました。

コンテストのスポンサーをワイズが幅広く募集してはどうか、スピーチコンテストという一過性のイベントだけではなく、日本語学科の留学生と交流を深めてはどうか、等々。

途中、加藤ワイズからも、横浜とつかクラブ2017年2月号ブリテンを引き合いにして話があり、ワイズは「人格なき任意団体」、「法的能力の無い社団」であり、例えば、NPO化などしないとこのままでは衰退していく運命にあると、米国の例、長い歴史を持ちながらも衰退していったクラブの例も引きながら話された。

活発に議論していた途中でもあり、東日本区最古の横浜クラブがまさか衰退の道を歩むなど・・・と思ったものの、冷静に考えてみると、まさに横浜クラブもタイトロップの上を歩いている状況には違いが無い。

つべこべ言っていないで、また、衆を頼むのではなく、「まず一人ひとりがやってみなはれ」と高田ワイズに発破を掛けられたような気がした研修会でした。

「2017年度横浜YMCA会員総会報告」

古田 和彦

5月27日（土）17時、湘南戸塚YMCA一階ホールにおいて、2017年度の横浜YMCA会員総会が行われた。総会司会は総会準備委員の黄 崇子さん。開会礼拝では、讃美歌 412

番1・2節を讃美し、聖書は2017年度横浜YMCA基本聖句であるローマの信徒への手紙5章3、4節「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む。」が読まれた。司会者の祈りののち、「愛すること、仕えること」（日本YMCA基本原則のうた）の讃美、「横浜YMCA—私たちの使命—」の交読を行った。続いて会員総会となり、議長は横浜YMCA常議員会議長の工藤誠一さん。書記には今城こう高之さん（つづきワイズ）とともに、当クラブの青木一弘さんが務められた。登録総会構成員数517名、出席総会構成員131名、委任状191名で総会は成立した。また、総会構成員以外に73名の出席者があった。

議長の指名により、田口努総主事が、第1号議案「2016年度事業及び会計報告の承認」、第2号議案「2017年度全体事業方針・計画案及び予算案の承認」を提案・説明し、質疑ののち異議なく承認された。続いて、プロテクト・ア・チャイルドの募金アピールがあり、募金額は4人の年間支援分に当たる144,506円であった。小休憩の後、特別プログラムとして、開設10周年を迎えた富士山YMCAの活動の歩みをスライドで振り返り、リーダーたちの指導でキャンプソングを歌った。再び議事に戻り、第3号議案「常議員の選出」が上程され、新任5名、改選（2期目）6名の選任が行われた。当クラブの古賀健一郎ワイズ、齋藤宙也ワイズが新常議員に選ばれた。金子ワイズは任期満了で退任となった。第4号議案「会員表彰」、47名のリーダーが奉仕賞を、「奉仕の書」には高田一彦ワイズが記された。閉会式、写真撮影を終え、20時閉会した。



「奉仕の書」を授けられる高田ワイズ

今回の会員総会には上記のように当クラブの皆さんが大いに用いられ、また、今後横浜YMCAの運営に

責任を持つ方が与えられるなど面目躍如の総会となった。永く仕えられた高田ワイズに改めて感謝するとともに、各位の健闘を期待したい。横浜クラブからの参加者は、青木、今村、大江、金子、古賀、齋藤、高田、田口、古田の各ワイズ。

「横浜クラブの思いで」

高田 一彦



1990年4月に菅沼会長の時に入会しました。その8年前に横浜YMCAに入会し、YMCAの国際協力募金の委員長を担っていた時に、ワイズからの募金を頂きに行ったのがワイズとの関わりでした。そして、加藤、高杉両ワイズのお勧めで横浜クラブへ入会し、すぐに書記やブリテンを任せられ、翌年の3月に横浜クラブ創立60周年の祝典に臨めたことは意義深いものがあったと思います。

1994年3月には、会長として横浜とつかクラブをチャーターし、加藤ワイズを初めとする5人のメンバーを横浜

から送り出しました。

から送り出しました。

数々の思い出の中では、2001年の台中アジア大会に高杉、須部、神村、加藤各ご夫妻と参加し、大会後のIBC基隆クラブの熱烈歓迎では、メチャクチャに盛り上がり、須部さんと二人でカラオケを絶叫した事や、IBCシンガポールベータチャプタクラブの50周年の式典（12月20日）に伊藤夫妻、加藤ワイズ等と訪れ、夏のクリスマスを体験した事を思い出します。

横浜国際大会については、国際大会誘致調査委員会発足から翌年の2007年、私の理事時代に大会開催が決定し、その年から大会準備副委員長を請け、須部ワイズの補佐の下、2010年の大会に漕ぎつけました。そして大会の地元通訳ボランティアの大高氏に巡り合い、3年後に横浜のメンバーに迎えることが出来た事はワイズ冥利の出来事であったと思います。

また、一昨年の沖縄部長公式訪問に、私が参加すると例会で手をあげたら、「高田さんが行くなら俺も行く」とあのやんちゃな金ワイズが沖縄へ同行し、体調不良の中、車椅子で旅を強行し、帰ってからはリハビリの生活となり、その年の12月に亡くなった事は忘れられません。私にとってもその沖縄訪問の2日目の早朝、母を天国に送ったのでした。

2011年の東北大震災の年に横浜から船橋へ引っ越し、往復4時間の横浜通いを6年間続けて来ましたが、やはりボランティア活動は地元で根差したものであるとの思いからこの7月に千葉クラブへの移籍を決意した次第です。

数々の思い出のある27年間の横浜クラブでのワイズライフでしたが、皆様のおかげと感謝しています。横浜クラブの皆様、本当に有難うございました。

「富士山YMCA10周年記念礼拝」に参加して

高田 一彦

富士山YMCAグローバル・エコ・ビレッジの開設10周年感謝礼拝が5月13日（土）に現地にて開催され、ワイズメンをはじめとするボランティア、Yスタッフ等を含め総勢106名が集まった。

感謝礼拝では、地元日本基督教団富士宮教会の柳沢光子牧師から「富士宮市内でもこの富士山YMCAが大いに歓迎されている」とのメッセージが印象的であった。

続いて研修棟建設起工式が行われ、多目的利用のホールとしての鋳入れ式が榎村ワイズ（富士クラブ）、田口総主事、茂木委員長らにより行われた。100年の計画の下に建設された富士山YMCAも、過去10年間に約8万人に利用されて来たが、新たな設備とともに今後の発展が期待される。



参加者の集合写真

第3部の感謝会では、増田富士山部部長（富士クラブ）が乾杯の音頭をとったが、富士山Yの運営委員会には、富士クラブのメンバーが当初より加わり、厨房は、沼津クラブのメンバーが仕切る等、ワイズが大いにかかわっているのが嬉しい。

富士山YMCAの建設にあたり、当時常議員会議長を務めた私としては、感無量の1日であった。

横浜クラブからの出席は、金子、高田、田口、古田の4人でした。

第二例会報告

伊藤 誠彦

日時：5月26日（金）14:00～15:00

場所：横浜市民ふれあいの宿 上郷・森の家 会議室

出席者：青木、伊藤、大高、金子、古賀、齋藤、高田、舟田 ビジター：加藤利榮ワイズ（横浜とつかクラブ）

5月26日、27日の一泊研修会の開始前に変則日程で実施。

協議・確認・報告事項は次の通り。

- ① 今後の行事予定の確認。
- ② 6月8日予定の横浜クラブ第一例会は高田ワイズの千葉クラブ転会歓送会を兼ねて、横浜中華街「萬珍楼」にて18:30より実施。司会は伊藤ワイズ、会計は古田ワイズ。
- ③ 舟田次期会長の次年度活動クラブ運営方針の確認
- ④ 未選出になっていた広報事業委員に金子ワイズを指名、また、大高地域事業委員を役員会構成委員に指名、いずれも6月例会での合意を得て、最終決定。
- ⑤ 次年度ロースターの最終原稿確認。
- ⑦ 川越東日本区大会でのクラブ報告事項の確認。
- ⑧ その他



担当主事 青木 一弘

○富士山YMCA 開設10周年 感謝礼拝報告

5月13日、前日夜半から降続いた雨は、当日になっても止まずに雨の中での感謝礼拝となりました。開設以来10年間富士山YMCAを支えていただいたワイズメンズクラブや周辺地域の方、レイパーソン、リーダー、職員等約100名がともに礼拝を守り10周年の時をお祝いすることができました。また、10年間の流れが映像で紹介され、自らの姿を確認し、懐かしがる方もいて、楽しいうちに散会となりました。今後とも、富士山YMCAの支援をよろしくお願い致します。

○ゴスペル・チャリティーコンサートのお知らせ

中央YMCAでは、東日本・熊本地震復興支援のために、表記コンサートを開催します。是非、ご参加ください。

日時 7月15日（土）

開場 14時30分 開演 15時

場所 横浜中央YMCA 9階チャペル

入場料 500円（未就学児無料）

主催 J-WAY横浜YMCAゴスペルクワイヤ

申し込み 横浜中央YMCA1階受付にてチケットを前売りしています。

○第24回 AIDS文化フォーラム in横浜 開催

AIDS文化フォーラム in横浜は、HIV・エイズに関わるNGO、NPOと市民ボランティアによるフォーラムです。毎年8月に3日間開催されます。このフォーラムは、今年も、教育、医療、看護、女性、薬害、PLWHA、人権、社会問題、セクシュアリティ、国際 etc. 多くの社会的課題を考える場となります。

日時 8月4日（金）～8月6日（日）

場所 かながわ県民センター

その他 参加自由・入場無料

6月例会プログラム

日時： 6月8日（木） 18:30～20:30

場所： 萬珍楼（中華街）

司会：伊藤ワイズ

第一部 例会

- | | |
|--|-------|
| 1. 開会点鐘および挨拶 | 金子会長 |
| 2. ワイズソング・ワイズの信条 | 全員 |
| 3. 今月の聖句 | 古田ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 金子会長 |
| 5. ビジネス・報告 | 金子会長 |
| 6. Happy Birthday ：松島美一（18） | |
| 7. 閉会点鐘 | 金子会長 |

第二部 高田ワイズ感謝会

- | | |
|----------|-------|
| 1. 会長挨拶 | 金子会長 |
| 2. 食前感謝 | 古田ワイズ |
| 3. 乾杯 | 神村ワイズ |
| 4. 会食 | |
| 5. 歓送の言葉 | 全員 |
| 6. 感謝の言葉 | 高田ワイズ |
| 7. 閉会 | |

閉会后ロビーにて集合写真

例会報告：古田ワイズ

7月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
13	木	18:30	横浜クラブ第一例会 総会	中央Y
27	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 045-641-5785